

絵本がもっと大好きに！！



キャラバンカーに描かれた絵本の主人公たちと写真に納まる園児たち

「全国訪問おはなし隊」がキャラバンカーで来訪
 講談社の「本とあそぼう全国訪問おはなし隊」が6月23日、一之宮公民館を訪れ、宮保育園の園児

一之宮まち協だより

第14号

平成27年7月1日

一之宮町
まちづくり協議会
広報委員会

高山市一之宮町3087
電話 53-2424



選んだ本を読んでもらう園児

この活動は、一之宮町の読み聞かせボランティア「お話玉手箱」が誘致して始まり、平成21年から1年おきに実施しているもので今年で4回目。子どもたちに絵本を楽しむ機会を届けようと、全国各地の保育園・公民館などを、絵本550冊を載せたキャラバンカーで訪問し、6月は岐阜県内各地を巡回し、高山市内では一之宮町など4か所を訪れたものです。

「おはなし会」で、「お話玉手箱」とおはなし隊の隊長による大型絵本の読み聞かせや紙芝居を楽しんだ後、子どもたちはキャラバンカーに順に乗り込み、気に入った一冊を友達同士で読んで、「お話玉手箱」の方に読んでもらったりとすっきり絵本の魅力に引き込まれたよかったです。(広報委員 野口)

宮景

消防操法大会

本番当日は、選手のみなさんは雨の降る中約70メートル先の標的まで全力で走り、機敏な動きでホースをつなげて放水をしていました。

選手のみなさん、家族や関係者のみなさん大変お疲れ様でした。

なお、優勝は上宝支団、3位は国府支団でした。

(広報委員 中畑)

消防団が日頃の訓練を競う消防操法大会といえば毎年この時期に行われる年中行事になっています。その高山市消防操法大会が6月21日に高山市の大八グラウンドで開かれ、一之宮支団が見事2位に輝きました。

この日行われたのはポンプ車の操法競技で、市内から10支団が出場しました。

当日はあいにくの雨でしたが、隊員達のこれまでの練習の成果や家族や関係者の応援もあり、素晴らしい成績を残すことができました。

一之宮支団から出場したのは、町川洋介さん(指揮者)、田口工兼さん(1番員)、御母衣洋平さん(2番員)、谷本悠太さん(3番員)、下本大吾さん(4番員)、入倉英介さん(補助員)の第2分団の6名。2月から屋内運動場で、また4月下旬からは中学校グラウンドで夜間練習を重ねてきました。



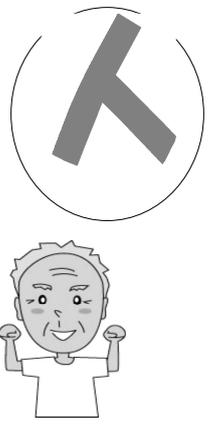
的に向かって一斉に放水する一之宮支団の選手たち



毎日牛の世話に余念がない野添さんですが、一旦仕事を離れば、多彩な文化人です

最近、休みを取る時は同業者が
協力を得る時は同業者が
紙芝居を制作したりしてみえます。
紙芝居は、最初小学生に牛の話の説明するために作ったそうですが、民話の題材も取り入れ、今では6作あるそうです。学校をはじめ老人クラブ、催しなどで披露してみえます。

趣味も多く詩吟や絵をかいたり、紙芝居を制作したりしてみえます。紙芝居は、最初小学生に牛の話の説明するために作ったそうですが、民話の題材も取り入れ、今では6作あるそうです。学校をはじめ老人クラブ、催しなどで披露してみえます。まちづくり協議会の前身、一之宮町社教では文化部長をしてみえました。そんな、まちよな、野添さんは、町の元気で明るい人を紹介する「西川きよしのご縁です！」というテレビにも何度か出演された人気者でもあります。(広報委員 山腰)



命を育てる多忙な仕事

合間に多彩な趣味

野添 幸夫さん
(野)

今月の「まちよな人」は、モンデウススキー場の脇で畜産業を営んでみえる野地区の野添幸夫さんです。訪問に行った日も、朝の6時頃から牛舎で牛の世話をしてみえました。主に乳牛で80頭余り飼っておられ、毎日朝夕2回乳を搾ってやらなければならぬそうで、家に帰るのは夜の8時頃になるとのことでした。搾乳は毎日欠かさずやらないと乳腺炎という病気を起こすそうで、昭和38年に牛を飼い始めてから50余年毎日続けているそうです。毎日続けることは大変なことで、今は息子さんが中心となって、家族で仕事をしてみえます。

協力する仕組みもあるそうですが、定休日もなく大変ということの後継者が育たず、飛騨地方でも畜産業の廃業が進んでいるそうです。

昨年の大雪による停電の時は、久々野側から倒木をよけながらやっとのことで牛舎に着き、発電機で搾乳の機械を動かしたそうです。停電が及ぼした影響を改めて感じました。

今からは、冬の餌用としての草刈りに忙しくなるということと、日々、気の休まることもない、命を預かる大変な仕事だと感じました。

仕事に多忙な野添さんですが、毎日の忙しい仕事の合間を見つけては、何事にも前向きに取り組んでみえます。



宮笠とウルトラマラソン

中島 照雅さん(宮笠愛好会会長)

先日、第4回飛騨高山ウルトラマラソンが開催されました。私は宮笠をかぶって第一回から出場しており、去年は時間切れリタイヤでしたが、今年は制限時間7分前に滑り込みゴールすることができました。

宮笠は、もともと野外作業などで昔からかぶられており、軽い、通気性がよい、雨を防ぐなどとても実用的な道具です。その良さにひかれて、今なお愛用者も多く、また作る楽しさから問坂さんに作り方を習う飛騨宮笠愛好会も活動をしています。私も宮に移り住んで宮笠を知り、それ以来ずっと宮笠を使い続けています。

登山などでも宮笠を使っていたのですが、ウルトラマラソンに出るに当たり、「長時間ゆっくり走るウルトラマラソンにも合うんじゃないか」と思い、実際に使ってみると、実に具合がよく走れました。

その経験を踏まえ、第3回には飛騨宮笠愛好会で全国から来た参加者に宮笠をかぶって走っていただくモニターランナー募集を試行しました。するととても好評で、20名の定員はいっぱいになり、後で届いた感想も良い評価が書かれていました。

第4回の今回は、50名に枠を増やしたところ、これまた好評のうちに満員になりました。また宮笠ランナーのことが話題になり、NHKのBS番組「ランスマ」で取り上げていただくことになり、レポーターの中村優さんも宮笠をかぶって走るようになりました。7月18・25日にはその様子も放映されますので、是非ご覧いただければと思います。

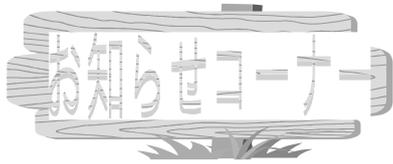


宮笠のモニターランナー募集

一之宮町が全国に誇る「宮笠」、皆さんもこれまで通り、いやこれまで以上にどんどん活用していきましょう。



「ランスマ」の中村優さんと



モンデウス・位山周辺の 草刈作業協力をお願い

モンデウス・位山周辺の草刈作業の協力者を募集します。

協力できる方は当日現地まで来てください。



日時：7月12日(日)
午前中

集合：8時30分までにモンデウス駐車場に

持ち物：草刈機(燃料は依頼側で準備します)
草刈箇所は現地で指示します。小雨決行です。
詳しいことは 電話53-2421まで

【みや交流サロン】

へ行かんかな!

まち協では、福祉委員会が中心となって、飛騨位山文化交流館で自由に気軽に集える交流の場として、「みや交流サロン」を開くことになりました。

特に高齢者の方歓迎です。

皆さんお誘いあわせの上ぜひ遊びに来ててください!!

7月1日からご利用いただけます。(月曜日休館)

場所は交流館のロビーです。

お茶やコーヒーを無料でご用意しています

(午前10時~午後3時)

お菓子や軽食のお持込OKです!



交流館の土足禁止にご協力ください。

7月より試行的に交流館を土足禁止とします。

交流館をよりきれいに使っていただこうと、試行的に実施しますのでご理解ご協力をお願いします。
スリッパを用意しています。

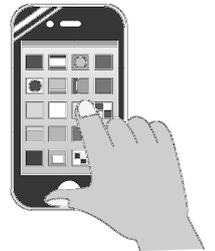


まち協ホームページ開設しました

まち協ではホームページを開設して公開しています。

まち協に関することや公民館・交流館からのお知らせ、地域の話などなるべくリアルタイムでお届けする予定です。ぜひご覧ください。

アドレスは、<http://machikyo.hidamiya.com>



図書館だより

夏休み 図書館へ行くこう!

図書館には夏休みの調べもの・工作・読書感想文などに役立つ本がたくさんあります。

「こんな本を探しているけど、みつからない!」そんな時は、スタッフにお気軽におたずねください。

また、上映会などのイベントも行います。ぜひ、ご参加ください。

お知らせ

夏休み期間中(7月18日~8月25日)は、スタッフの滞在時間が午前10時~午後5時までになります。

今月の特集

アウトドアを楽しもう!

アウトドアシーズンに合わせて、キャンプ・釣り・登山・自然遊びなどの本を集めました。

夏休み、子どもと自然体験してみたいかがでしょうか?

おはなし会のご案内

7月18日(土) 午前10時30分
スタッフによる絵本の読み聞かせ・手遊び。申し込みは不要です。



公民館から

展示コーナー

飛騨の焼物(中古)展

(7月12日まで)

7月の公民館定休日

13日(月) 21日(火)

7月の位山交流館定休日

6日(月) 13日(月) 21日(火)
27日(月)

日	曜日	行事内容
25	土	水無神社奥宮祭
23	木	長寿会高齢者法令講習
23	木	町内会長・班長会 (民宿甚左衛門)
12	日	周辺草刈り作業
11	土	サタデイサークル
7	火	特定健診(保健センター)
6	月	特定健診(保健センター)
2	木	結婚相談(交流館)
		行政相談・心配ごと

一之宮町の人口情勢

世帯数		814戸		
年齢	男性	女性	合計	
0~14歳	195	163	358	
15~64歳	704	735	1,439	
65歳以上	337	458	795	
合計	1,236	1,356	2,592	

6月1日現在・単位：人

編集後記

梅雨とはいいながら、ねっからはつきりしない空模様で、一喜一憂しています。この時期、晴耕雨読といきたいとの願いをもっているのですが、また、今年は倒木が大雨によって洪水を引き起こさないか心配なところです。
(山腰委員長)

つぶやき

年少で3歳の娘は保育園で色々な言葉覚えてくる。「だめよ、だめだめ」や「あたりまえ体操」など。3歳、4歳でもこんな冬のギャグが流行っているのかと感心する。しかし最近覚えてきた言葉は「変なおじさん 変なおじさん なくなー!」んちよつと古くねか?しかも「なくなー!」じゃなくて「だうふんだ!」だろ!往年の志村けんギャグで、多分同級生のお父さんあたりがおもしろがって自分の子におしえてるのかもしれない。片言の外国人に変な日本語を教えるように。ピバ! 保育園! ガンバレ! 保育園児! (めがね)

サタデイスクール開講

今年度のサタデイスクールが6月から始まり、開講式は13日に公民館で開かれ、児童や講師ら70人ほどが出席しました。

今年度のスクールは、平成14年度のスクール開始時から続いてきた「大正琴」がなくなり、「ふるさとのお菓子づくり」スクールの新たに加え、「ふるさと探検」、「ローラースキー」、「卓球」、「お茶」の5スクールで開講され、58人が参加します。

開講式では、三木忠裕実行委員長が、感謝と感動、感性の3つの「か」を大事にしようといさつし、続いて中川善夫宮小学校長が「ありがとう、あいさつ、安全の3つの『あ』を大切にしましょう」など児童に向かって話しました。この後各スクールに分かれて活動を行い、初めて開講した「ふるさとのお菓子づくり」には13人が参加し、「ほお葉寿し」を「飛まわり会」の会員から指導を受けながら楽しそうに作っていました。



開講式で中川校長先生から話を聞く児童

まち協文化研修に22人



ビール工場で製造工程の説明を受ける参加者

まち協の文化教養委員会が主催する「まち協文化研修旅行」が6月21日に行われました。

今年度の研修は文化クラブ会員のほか、町内にも参加を呼び掛け22人が参加しました。

研修先は名古屋ボストン美術館やリニア・鉄道館で、参加者は日本の近代美術や輸送技術の歴史に触れ、作品や製品に感動していました。

この後キリンビール名古屋工場にも立ち寄って製造工程を見学し、試飲しました。

公民館で飛驒の焼物展

一之宮公民館の展示コーナーで江戸中期から昭和初期にかけて飛驒で造られた焼物が展示され、町内外から鑑賞者が訪れています。

飛驒の焼物（中古編）展として公民館が町内の収集家に依頼して開催したもので、こうした焼物展示は初めてです。

展示されているのは源十郎焼、

小糸焼、山田焼、三福寺焼、洪草焼の茶碗など56点、展示は今月12日まで行われます。



展示品に見入る来館者

女性委が乗鞍高原散策

まち協女性委員会では6月7日に、長野県松本市安曇の乗鞍高原でウォーキングを楽しみました。

今年度の女性委員会の事業として会員に参加を呼びかけて実施したもので、21人が参加しました。

ウォーキングは飛驒山岳会の谷下保さんなどにガイドを依頼して行われ、参加者は、爽やかな新緑の中、信州側から一望する残雪の乗鞍岳や湖面に映るその姿の美しさに歓声を上げていました。また乗鞍三名滝の一つ、「善五郎の滝」に足を運び、遊歩道に咲く水芭蕉



乗鞍高原の自然を堪能したみなさん

やチゴリなどの小さな花々、珍しいリリイトトンボに感嘆の声をあげていました。

ウォーキングの後は、乳白色の天然温泉へ入り、心身ともに癒され有意義な時間を過ごしました。

(広報委員 牛丸)

少年の主張に宮中の田畑君



市少年の主張コンクールが6月21日に市民文化会館で開かれ、宮中からは田畑奨治郎君が出場しました。

コンクールは自分や家族、学校のこと、将来の希望などについて発表するもので、市内の中学校12校から3年生16人が参加しました。部活の野球でキャッチャーを務める田畑君は、野球と相撲の両立で自分自身を鍛えたいと発表しました。

前期生涯学習講座始まる

まち協文化教養委員会が主催する前期生涯学習講座が6月11日のチエアエクササイズを皮切りに始まりました。

前期講座は「チエアエクササイズ」(全4回)と「ダンホンをたたく」(全2回)、「グラスアーツ教室」(全2回)の3講座で、合計で37人の応募がありました。

チエアエクササイズは椅子に座ったままで、音楽などに合わせて無理なく行う運動で、参加者は踊るように楽しみながら受講していました。ダンホンは段ボール製の打

楽器で、こちらも音楽に合わせてながらリズムカルよく軽快な音を響かせて楽しんでいました。



初めてダンホンを叩く受講者

保育園で年長児が力丸捕り

宮保育園では6月19日に、龍華保育園、こま草保育園と一緒に力丸捕りを行いました。

各園から年長児が参加して、宮保育園周辺の水路に入って歩きながら力丸を探しました。

途中、別の水路から流れる、「水のトンネル」や段差の「滝」などがある、園児にとってはちょっとした冒険。

この日は力丸が少なく、収穫は力丸数匹と赤べら。園に帰ってからは水のかげあつこや泥遊びをして楽しみました。



水路の中を力丸を探しながら歩く園児たち